

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Play		
○保護者評価実施期間	2026/1/19		2026/1/31
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026/1/23		2026/2/6
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/20		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置や支援体制を整え、子ども一人ひとりの特性に応じた支援を行っていること。	昼礼や支援会議、記録システムを活用し、子どもの様子や支援内容について職員間で日常的に情報共有を行っている。	職員間での振り返りや意見交換の機会をさらに充実させ、支援の質の向上につなげていく。
2	活動プログラムについては、固定化しないよう工夫していること。保護者評価においても子どもが楽しく通えているという回答が多く見られる。	子どもの興味や発達段階に合わせて、様々な分野の活動を取り入れるよう職員間で相談しながら計画している。	活動内容の見直しを行い、より多様な経験ができるプログラム作りを進めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや地域の他施設との交流について、十分とは言えず、地域との関わりが限定的であること。	日々の支援や事業所内の対応を優先する中で、地域連携に向けた具体的な検討や調整が行えていない。	活動プログラムの中に地域交流の機会を取り入れることを検討していく。
2	保護者支援(ペアレントトレーニング等)について、実施機会が十分に確保できていないこと。	日常支援を優先する中で、保護者支援に向けた計画的な時間や体制の確保が難しい状況がある。	面談や情報提供の機会を活用しながら、保護者支援の在り方について段階的に検討していく。
3			